

令和8年2月26日(木)

令和7年度福岡市発達障がい者支援地域協議会

福岡市立発達障がい者支援センター 現状報告

社会福祉法人
福岡市社会福祉事業団



令和6年度実績

相談件数

	相談のべ件数	相談実人数
令和4年度	3,258 件	1,199 件
令和5年度	3,900 件	1,290 件
令和6年度	4,500 件	1,584 件

一月あたりの延べ件数

令和5年度	約320件
令和6年度	約370件

男性：911人(57.5%)
女性：515人(32.5%)
不明：158人(10%)

相談支援対象者の年齢

	18歳未満			19歳以上	不明	計 (相談実人数)
	0～6歳 (乳幼児)	7～12歳 (小学生)	13～18歳 (中高生)			
令和4年度	65 人 (5.4%)	283 人 (23.6%)	210 人 (17.5%)	521 人 (43.5%)	120 人 (10.0%)	1,199 人 (100%)
令和5年度	69 人 (5.3%)	292 人 (22.6%)	204 人 (15.8%)	592 人 (45.9%)	133 人 (10.3%)	1,290 人 (100%)
令和6年度	89 人 (5.6%)	390 人 (24.7%)	262 人 (16.6%)	746 人 (47.0%)	97 人 (6.1%)	1,585 人 (100%)

18歳以下 741人 (46.9%)

相談者は全年齢層で増加しているが、中でも小・中学生の保護者からの相談や就労支援を希望する成人当事者からの相談が増加している。

新規相談時の依頼者

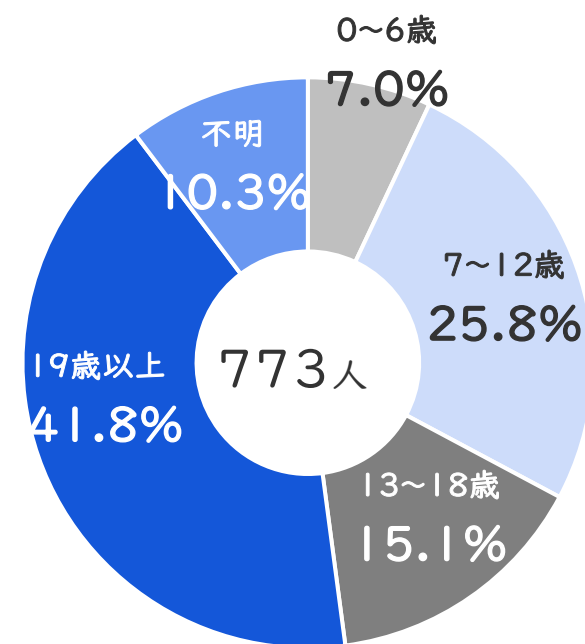
	相談支援・発達支援	就労支援	計
本人	64 人 (29.1%)	26 人 (78.8%)	90 人 (35.6%)
家族等	122人 (55.5%)	4人 (12.1%)	126人 (49.8%)
関係機関	27人 (12.3%)	3人 (9.1%)	30人 (11.9%)
その他	7人 (3.2%)	0人 (0%)	7人 (2.8%)
合計	220人	33人	253人

- ・約半数は家族等からの依頼により来所相談が開始。

相談支援対象者の障がい別内訳

	実人数(重複あり)
自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害	453人(26.2%)
注意欠陥多動性障害(ADHD)	219人(12.6%)
学習障害(LD)	13人(0.7%)
発達性強調運動障害	3人(0.2%)
トゥレット症候群	1人(0.1%)
吃音	3人(0.2%)
上記以外の発達障害	38人(2.3%)
発達障害に加え知的障がいを伴う場合	126人(7.2%)
その他(発達障がい傾向・疑い、ボーダー・グレー等含)	99人(5.8%)
不明(未診断含)	773人(44.7%)
計(相談実人数)	1,728人(100%)

不明(未診断含)者の年齢層



各年齢層における相談内容

延べ相談内容(※重複あり)	0～6歳	7～12歳	13～18歳	19歳以上	不明	計
現在の生活に関することや家庭での家族ができることの相談	38	196	164	488	42	928
	35.8%	36.9%	39.2%	39.1%	40.0%	38.5%
相談対象となっている児(者)が発達障がいかどうか知りたい	8	26	16	79	10	139
	7.5%	4.9%	3.8%	6.3%	9.5%	5.8%
利用できる制度・機関についての相談(障がい福祉サービス等)	5	26	20	77	5	133
	4.7%	4.9%	4.8%	6.2%	4.8%	5.5%
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	32	78	46	135	31	322
	30.2%	14.7%	11.0%	10.8%	29.5%	13.4%
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	9	93	55	35	2	194
	8.5%	17.5%	13.2%	2.8%	1.9%	8.1%
進路や将来の生活に関する相談をしたい	4	13	48	55	0	120
	3.8%	2.4%	11.5%	4.4%	0.0%	5.0%
対応困難な状況の改善についての相談(強度行動障がい等)	0	47	27	13	1	88
	0.0%	8.9%	6.5%	1.0%	1.0%	3.7%
今後の就労について相談したい	0	0	5	124	2	131
	0.0%	0.0%	1.2%	9.9%	1.9%	5.4%
現在勤めている職場に関する相談をしたい	0	0	0	72	0	72
	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	0.0%	3.0%
その他	10	52	37	171	12	282
	9.4%	9.8%	8.9%	13.7%	11.4%	11.7%

関係機関連携

	関係機関との 連携件数	左記のうち機関コンサルテーション	
		(件数)	(のべ参加人数)
令和4年度	1,285 件	(56件)	(394人)
令和5年度	1,240 件	(100件)	(649人)
令和6年度	1,239 件	(185件)	(902人)

- ・学校等 58件
- ・児童発達支援センター・
放課後等デイサービス等
22件
- ・障がい福祉サービス等
42件
- ・その他 61件

- ・ 関係機関との連携総数はほぼ横ばい。うち機関コンサルテーション件数や参加人数が増加。
- ・ 学校や施設等のニーズに合わせた柔軟な対応を行っている。

普及啓発・研修

	普及啓発イベント・ 研修開催等対応回数
令和4年度	80 件
令和5年度	384 件
令和6年度	414 件

- ・地域住民向け講演会 10件
- ・センター主催・共催研修 20件
- ・講師派遣 66件
- ・その他の普及啓発 287件

令和7年度の主な取り組み

● 地域の関係機関に出向いての相談支援の実施

地域支援マネジャーと相談員が柔軟に連携し、地域の行政窓口や教育・福祉・就労・子育て等の関係機関へ出向き、発達障がいに関する困りごとへの対応の充実・強化を図る

市内小・中学校教員に対しての「出張相談会」、公民館への「出前講座」の実施

● 障がい者就労支援センターとの連携

障がい者就労支援センターとのカンファレンスや、相談者対応等の連携を通して、発達障がいのある方への就労支援をより円滑かつ効果的に支援できるよう柔軟に連携する

令和7年1月時点での連携ケース43件（令和6年度：25件）、就労支援センター主催「スキルアップセミナー」への講師協力

● 放課後等デイサービス職員向け「放デイフェスタ」の実施

発達障がい児と家族への支援に大きなウェイトを占める放課後等デイサービス職員を主な対象として、イベント型研修を実施。こども家庭庁発達障害児支援専門官による講義や、地域の支援機関の発表のブースを設置し、支援者が広い視野で正しい情報を得られる場として実施。

入場無料

福岡市発達障がい児支援センター
ゆうゆうセンター

放デイフェスティバル

日時 2025年11月9日(日) 14:00~17:00
(13:30 受付開始)

場所 福岡市役所舞鶴庁舎 2階大研修室
(福岡市立舞鶴障がい児支援センター)

対象 福岡市内の放課後等デイサービスに勤務する支援者
障がい児の支援に携わる支援者の方

こんな人におすすめです。
他の放デイはどんなことをしているのか？
そもそも放デイってどんなことをやるのかな？
関係機関ってどんなところがあるのかな？
他の放デイのスタッフと繋がりたい！

放デイに求められる役割を知りやすく説明いたします！
福岡市内の放デイや関係機関の支援や連携について知ることもできます！

第1部
14:00~14:40

講師
「放課後等デイサービスの基本的役割」
こども家庭庁支援局
障害児支援課発達障害児支援専門官
今出 大輔 氏

第2部
14:40~17:00 **入場自由**

放デイや関係機関の展示と発表による
取り組みの共有
業務報告(報告形式)

発表希望の放デイ(15名以内)
・放課後等デイサービス(25名以内)
・認可外発達障害児支援事業所

機関の紹介
・福岡市発達障がい児支援センター
・福岡市立舞鶴障がい児支援センター
・福岡市立舞鶴障がい児支援センター
・福岡市立舞鶴障がい児支援センター
・福岡市立舞鶴障がい児支援センター

福岡市発達障がい児支援センター 住所：〒810-0072 福岡市中央区舞鶴1丁目4-1-3 福岡市舞鶴庁舎4階
ゆうゆうセンター
TEL：(092)753-7411 FAX：(092)753-7412
Mail：yuyuyu@foc-sew.org



6事業所の協力 放デイ職員等51名の参加。

● 障がい者110番・教育委員会との共催講座

「発達障がいと合理的配慮について～学校生活を考える～」の実施

発達障がい児の学校生活での『合理的配慮』について、教員・保護者それぞれが正しい理解を持ち、双方ともに適切な『建設的対話』を行えるよう講座を企画。関係機関と連携しながら、障がい者差別解消条例および発達障がいの特性理解の両面の知識を踏まえた講義やトークセッションを実施。

教員および保護者向け研修

発達障がいと合理的配慮

～学校生活を考える～

近年、発達障がいのある子どもたちが豊かな学校生活を送るために、保護者と教職員が協力し、建設的な対話を通じた合理的配慮の実現が重要視されています。本研修では、講義とトークセッションを通して発達障がいの特性の理解を深め、個別の判断が求められる合理的配慮の提供における建設的対話のポイントを共に考えます。

日程・対象

※教員対象、保護者対象 別々に開催します。
※いずれも通常の学級での支援を想定しています。

8/25 (月)	10:00~12:30	福岡市内小・中学校に勤務する教員向け	教員対象
	14:00~16:30	福岡市内の高等学校に勤務する教員向け	
9/12 (金)	10:00~12:30	福岡市在住の小・中学校児童・生徒の保護者向け	保護者対象
	14:00~16:30	福岡市在住の高等学校の生徒の保護者向け	

場所 福岡市舞鶴庁舎内 2階 大研修室（福岡市中央区舞鶴1丁目4-13）

講師・登壇者

下山いわず氏（福岡市手をつなぐ育成会理事長）
倉光晃子氏（西南学院大学准教授）
松本 学（福岡市発達教育センター所長）
高次美佳（福岡市障がい者110番主任専任相談員）
岡部 敦（福岡市立屋形原特別支援学校教頭）
ゆうゆうセンター職員

参加費 無料 **定員** 200名

参加申込 2025年6月16日（月）9:00～開始

裏面に記載のバーコード（Microsoft Forms）から、又はゆうゆうセンターホームページから申込みできます。

お問い合わせ先

福岡市発達障がい者支援センター
ゆうゆうセンター

TEL: (092)753-7411 住所: 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目4-13 福岡市舞鶴庁舎4階
FAX: (092)753-7412 Mail: youyou@fc-swc.org

福岡市発達障がい者支援センター
ゆうゆうセンター
ホームページ





教員向け115名、保護者向け101名参加

● 障がい児の遊び・体験支援事業（ドリームナイト・アクアリウム）の運営

福岡市と協力体制を築き、水族館（マリンワールド海の中道）を貸し切って、障がいのある未就学児とその家族が周囲に気兼ねなく思い切り楽しんでいただく事業を実施。障がいに配慮した運営を行えるよう、水族館職員への事前研修の実施や、「あんしんマップ、あんしんガイド」の作成、カームダウンスペースの設置・監修や支援グッズ紹介・貸出などの運営に関わった。



ドリームナイト
★
アクアリウム

入館 無料

マリンワールド海の中道を貸し切り、障がいのあるお子さんとその家族をご招待し、楽しいひとときを過ごしていただくためのイベントです。

日時
① 3月22日(日)
② 3月28日(土)
両日とも18:00-21:00
いずれかの日程のみご応募いただけます。

会場
マリンワールド海の中道
海の中道海浜公園内(福岡市東区西戸崎18-28)

対象児童
福岡市在住の未就学の障がい児・特別な支援が必要な未就学児と、その家族

申込定員
各日 900人 (応募多数の場合は抽選となります)
※年齢: 大人(18歳以上)2人まで参加可能です。(きょうだいで充て可)
※11月のイベントで落選された方を対象に、優先枠(各日800人)を設けます。

応募期間
2026年1月13日(火)～2月6日(金)

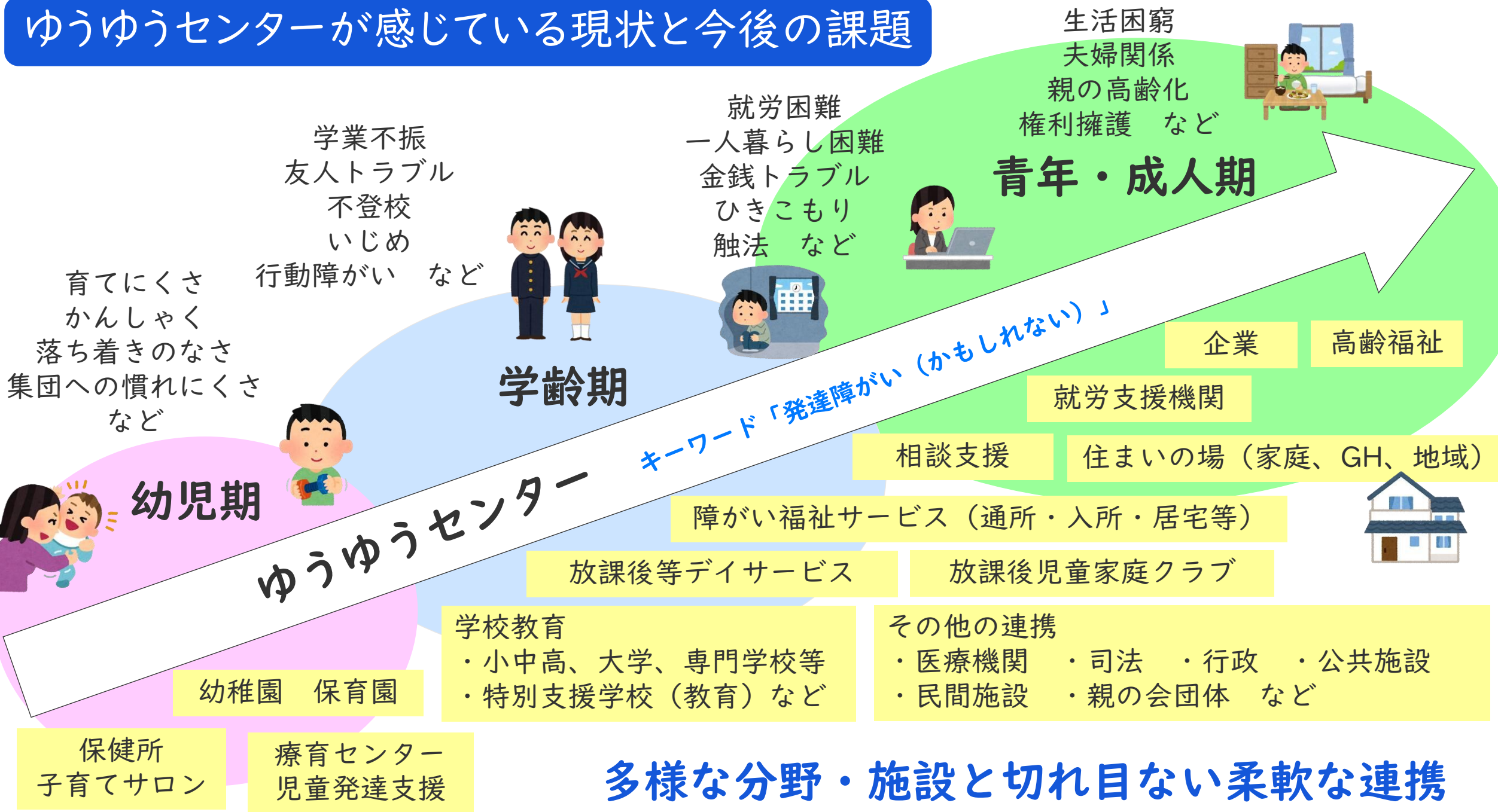
応募方法
福岡市ホームページ内の応募フォームからお申込みください。

お問い合わせ
福岡市子ども未来局こども発達支援課 (福岡市中央区天神1-8-1)
TEL: 092-711-4178 mail: hattatsushien.CB@city.fukuoka.lg.jp



11月と3月に計3回の実施

ゆうゆうセンターが感じている現状と今後の課題



多様な分野・施設と切れ目ない柔軟な連携

ゆうゆうセンターが感じている現状と今後の課題

- 発達障がいへの社会的認知の高まりとともに、診断を受ける方や支援を求める方は全国的に増加傾向
- 支援体制が充実していく中で、障がい福祉サービスなどの社会資源が増加
 - 支援者の質の向上の課題（支援方向性を揃えることの難しさ）
 - 本人の自己決定・選択支援、家族支援のさらなる重要性
 - 幼児期－学齢期－成人期のつなぎ（移行）の課題
- ゆうゆうセンター職員は、多岐にわたるニーズに対応するため、個々に応じた対応や他機関との連携が図れる幅広い知識と対応力が求められている

個々の
特性理解が
とても重要



地域と繋がりながら、乳幼児期から青年期、成人期まで、それぞれのライフステージに合わせた一貫した支援体制の構築を目指す